

# 大型クラゲの出現状況

(平成 30 年 7 月 18 日現在)

国立研究開発法人水産研究・教育機構及び関係機関が実施した調査によると、東シナ海と対馬海峡において大型クラゲが確認されており、日本でも対馬と石川県輪島の定置網で出現が確認されています。

- ・ 6月中旬～下旬にかけて、東シナ海と対馬海峡において大型クラゲの出現が確認されており、6月12日には長崎県対馬市と壱岐市の定置網でそれぞれ1個体が確認され、6月14日には石川県輪島市の定置網でも確認されたとのことです。
- ・ これらの情報によると、出現量は概ね昨年と同様の低水準に留まっているものの、日本周辺海域では例年より早めに大型クラゲが出現しており、また、比較的大型のクラゲが多く出現していることが報告されています。
- ・ 本県沖への来遊はまだ不明ですが、今後の情報に注意してください。
- ・ 大型クラゲの目撃や入網がありましたら、水産振興センターまでお知らせください。

資料：国立研究開発法人水産研究・教育機構のホームページ  
(<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/>)

(一社) 漁業情報サービスセンターのホームページ  
(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

担当 秋田県水産振興センター  
資源部 児玉  
電話 0185-27-3003  
Fax 0185-27-3004